

これからのコープ共済の役割

近藤 宏

京都生協共済事業部 マネジャー



1. 共済事業の状況

1984年にコープ共済《たすけあい》が誕生しましたが、コープ共済全体での全国加入者数は、2020年度末で約910万人¹⁾となりました。京都生協では1991年共済事業部を立ち上げ、「共済加入者の輪を広げる＝組合員の願いに応える（よりよい商品へ）」の想いを大切に共済事業を行い、加入者数は約26万人の到達状況です。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大で共済推進にも大きく影響がありましたが、新型コロナウイルス感染症を不慮の事故とみなす感染症として扱うこととし、共済金支払い対象として取り扱われたことは嬉しく思います。全国では自然災害等も多く、また今回のような経験したことが無い感染症による災害に対して、「助け合いの制度」としてお役立ち出来ることは、全国で共済を推進する職員の力となっています。また、共済金請求書類発送の際に「組合員同士の助け合い」の想いとして組合員自身が折った折り鶴を同封していることは、コープ共済の大きな特徴のひとつだと思います。



2. 組合員の期待の声と商品改定

1999年に《たすけあい》ジュニア18コースが誕生しましたが、現在まで組合員の声に応じて幾度も商品改定が行われて「子ども向け共済契約数 No.1」²⁾として支持されてきました。特に2010年《たすけあい》J1900円コースの誕生は、これまで持病等で加入受付が出来なくて、悔しい思いをした職員にとっても勇気づけられた商品改定でした。京都生協でも配達パート職員が担当する組合員のお子さんの「共済加入を実現したい」と強い思いが「加入条件の緩和」への商品改定につながったケースがあります。

1) こくみん共済 coop 契約引受の商品含む

2) 《たすけあい》ジュニア20コース 『共済年鑑2020年版』より

共済事業は、若年層や健康状態の良好な人がそうでない人を支え・助け合う相互扶助の仕組みにより、安価で充実した保障を組合員に提供できます。そのため、将来的な人口構造の変化に対応をしていく必要があります。人生 100 年時代といわれていますが、「産まれてから終活まで全ての年代をささえる保障でありたい」と思います。そのためには、加入者の輪を広げることが大切です。

今年は、ジュニアコースで大きな商品改定があります。これまで 20 歳満期でしたが 30 歳まで満期が延長されます。世代間格差や正規・非正規による所得格差が深刻化する中、若年層の無保障といった問題や「20 歳を過ぎても手頃な掛金で充実した商品にしてほしい」との組合員の声を反映した商品改定です。少子化でジュニアコースの加入者拡大に苦戦していますが、他社商品と比較しても優位性がありますので、自信をもって広くお知らせを行いたいと思います。そして若年層の加入者を広げることが、コープ共済の「たすけあい」の力を大きくし、共済事業の課題のひとつである「高齢者への保障内容の充実」につながります。京都生協の組合員で 1 番共済加入が多い組合員年齢は 47 歳ですが、まさしく「子育て層」中心にコープ共済の加入をいただいています。今回のジュニアコース商品改定で、「子育て層」の加入ボリュームをさらに引き上げたいと考えています。



3. 高齢社会での共済事業

2021 年度、京都生協での主力商品である《たすけあい》の 65 歳満期予定者数は約 7,500 人おられます。これまで約 85%が満期時にコープ共済の別商品（シニア向けコース）に継続いただいています。継続されない方、また継続いただいた方からも「これまでの保障内容と比べてかなり見劣りする」との不満の声をお聞きます。1994 年、当時の老人保健法の対象とならない 65 歳から 70 歳未満の組合員からの要望を受けてシルバー 70 コースが誕生し、その後も《あいぶらす》ゴールド 80・85、《あいぶらす》プラチナ 85 へと公的保障の法改正や組合員の声を反映して商品改定されてきました。また、終身保障の《ずっとあい》も条件により選択できますが、十分な満足に至っていないと思います。

65 歳以降のシニア向けコースの商品改定では、手頃な掛金で入院・ケガ通院・手術共済金の充実などの組合員の要望があります。今後《たすけあい》に年齢制限により、新規にご加入いただけない 65 歳以上の方にも、年齢に関係なく新規加入いただけるようになることを期待します。また、保障内容だけでなく、[生協らしさ]を大切にしたいものです。[生協らしさ]の中には、例えば「優しさ」というキーワードが浮かびます。「優しさ」の

ひとつには、シンプルでわかりやすい商品であってほしいです。今のコープ共済は共済専任職員でも保障内容や加入条件の説明が難しいと言う感想を聞きますが、組合員にはより難しいと感じられると思います。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、インターネットでの新規共済加入手続きが2019年対比で2倍になりました。今も伸長しつづけていますが、一方でインターネットでの手続きは難しいといった声や訪問や店舗共済カウンターでの手続きを希望される組合員もおられます。大事なことは組合員の希望に沿った手続き方法が選択できることです。また、テレビ電話相談みたいな対面で非接触型の推進方法も必要と思います。「優しさ」の他にも「つながり」や「ささえあい」「助け合い」など「生協らしさ」から連想するキーワードは色々と考えられますので、多くの意見を取り入れて形になればと思っています。



4. 終わりに

コープ共済では、「参加と共感」「暮らしへの貢献」「変化への対応」「地域への貢献」「明日の暮らしをつくる安定した事業運営」の5つの大切にしたいこととして2030ビジョンの中で掲げています。一方で全国の地域生協が地域や社会に必要とされる存在で信頼を築く土台があってこそ、共済の発展につながると思います。京都生協では「頼もしき隣人たらん」を理念とし、「京都生協は新たな希望をつくる」とビジョンを決めて2021年度スタートしました。職員として「生協ファン」「コープ共済ファン」を増やす仕事を心掛けたいと思います。